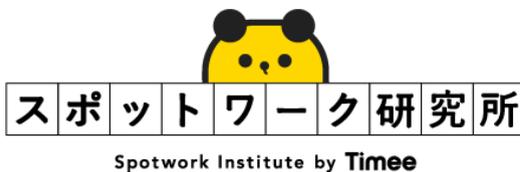


2025年6月9日

株式会社タイム スポットワーク研究所 山口眞司  
一般社団法人日本シングルマザー支援協会 江成道子

# シングルマザーのタイム活用実態と その貢献可能性について

～アンケート調査と12人のインタビュー調査から～



## 目次

- 1 はじめに
  - 2 協働で実施した取組
  - 3 アンケート調査結果の概要
  - 4 インタビュー調査結果の概要
  - 5 おわりに
- 付録1 タイミーの利用に関するアンケート調査  
付録2 インタビュー調査記録

## 1 はじめに

タイミーは、「働きたい時間」と「働いてほしい時間」をマッチングすることで、時間や場所に制約されない自由な働き方を提供するスキマバイトサービスである。タイミーの特徴として、これまでの一般的なパート・アルバイト等の働き方と異なる点が二つある。一つは「働くことの敷居が低いこと」である。履歴書や面接無しですぐに働くことができ、一日単位の雇用契約であることから、働く上での心理的なハードルが下がるものと考えられる。もう一つは「様々な職種を体験できること」である。働き手（以下、ワーカー）側の意向により気軽に業界、職種及び職場を選択し、様々な仕事を体験することができる。

一般社団法人日本シングルマザー支援協会（以下、協会）は、シングルマザーの自立を目指し、一人ひとりに寄り添いながら、就労支援等を行っており、シングルマザーのための「独自の自立支援プログラム：ひとり親コンシェルジュ制度<sup>1</sup>」を構築するなどして、シングルマザーが活躍できる社会の実現に取り組んでいる。

2024年5月から2025年3月までの期間、株式会社タイミーと協会は、協会が行う就労支援等の中でのタイミーの活用、協会の会員<sup>2</sup>に対するタイミーの利用に関するアンケート調査及びインタビュー調査を実施した。これにより、シングルマザーのタイミーの利用実態を把握するとともに、その利用による就労支援上の貢献可能性を探った。本稿は、その調査の結果を取りまとめたものである。

---

<sup>1</sup> シングルマザーの当事者でもあり、ひとり親支援に必要な教育を受け、協会の中でシングルマザーの個別相談に対応している。

<sup>2</sup> 会員数：約12,000人（2024年11月1日時点）

## 2 協働で実施した取組

### 取組1 正社員就職等に向けた支援

#### 【実施目的】

協会が実施する「MES（ミーズ）就職プログラム<sup>3</sup>」の中でタイミーを活用し、シングルマザーに対して「就労に対する不安の払拭」、「就労意欲の喚起」、「職業適性の探索」、「強みの発見」などを促し、円滑な正社員等への移行を目指す。

#### 【実施内容】

- 2024年4月22日  
協会のひとり親コンシェルジュに対して、タイミーの担当者による説明会（タイミーのサービス内容及び就職支援におけるタイミーの活用方法など）を実施した。説明会実施以降、協会が行う支援の中でタイミーを積極的に案内した。
- 2024年10月20日  
タイミーの活用を盛り込んだ就職支援プログラムである「MES就職プログラム＜ファースト・ステップ支援＞」を創設し、新規対象者を募集した。
- 2024年11月4日  
「MES就職プログラム＜ファースト・ステップ支援＞」に関する会員向け説明会を実施した。

### 取組2 副業支援

#### 【実施目的】

協会の会員のうち副業を求める方に対して、タイミーでの就労を促すことで、シングルマザーの「副業による臨時収入の獲得」や「副業による職業経験の付与」などを目指す。

#### 【実施内容】

- 2024年4月22日  
協会のひとり親コンシェルジュに対して、説明会（タイミーのサービス説明及び就職支援におけるタイミーの活用方法など）を実施した。説明会実施以降、協会が行う支援の中でタイミーを積極的に案内した。

### 取組3 労働法教育

#### 【実施目的】

協会の会員に対して労働法を学ぶ機会（座学）をタイミーが提供する。これにより、労働条件通知書の読み方や職場でのハラスメント、育児・介護に関する法律などについての知識が深まり、就業後のトラブル防止や離職防止につなげていくことを目指す。

#### 【実施内容】

- 2024年7月21日

<sup>3</sup> MES就職プログラム：シングルマザーの社会復帰や転職をスムーズにするため、社会性を高めるステップから、意識改革、定着支援までのステップを丁寧にサポートする支援。

タイミー担当者による、会員に対する労働法教育講座を実施。働き方のルール、これから求職活動をしていく際に知っておきたいポイント（公正な採用選考など）を説明した。

取組4 アンケート調査（3及び付録1参照）

取組5 インタビュー調査（4及び付録2参照）

### 3 アンケート調査結果の概要

#### 3-1 調査概要

シングルマザーのタイミーの利用実態及び利用の理由等を把握するため、協会が毎日配信している会員向けのメールマガジンを活用して、会員を対象としたタイミーの利用に関するアンケート調査を実施した。

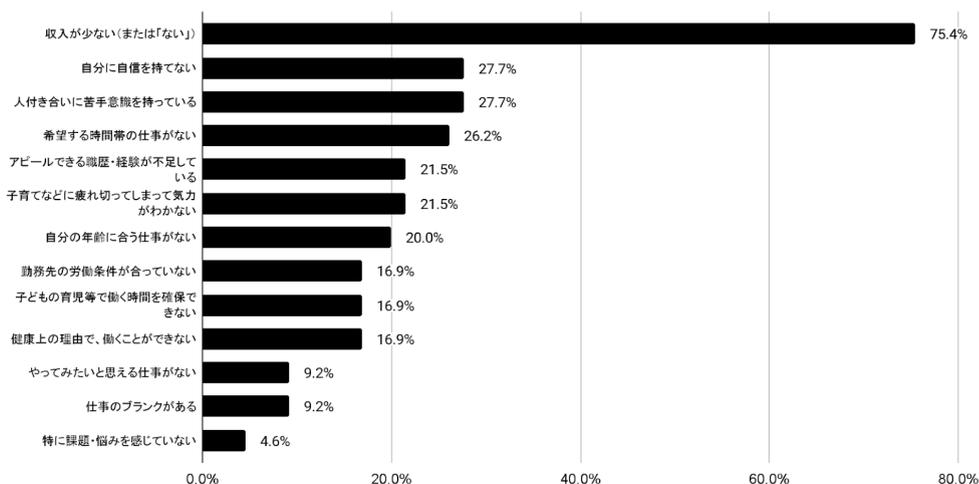
調査期間は2025年1月17日～同年2月8日、回答者数は66名だった。

#### 3-2 シングルマザーが抱えている課題

まずは現状把握のため、シングルマザーの働く上での課題・悩みを確認した。アンケート調査では、「働くことに関して、どのような課題・悩みを感じていますか。（複数回答）」という質問を行った。これに対して、「自分に自信が持てない」（27.7%）、「人付き合いに苦手意識を持っている」（27.7%）、「子育てなどに疲れ切ってしまうと、気力がわかない」（21.5%）と、「意識面」及び「精神面」に関する課題が多くみられた（図1）。様々なケースが考えられるが、この設問結果について、協会のひとり親コンシェルジュに確認したところ、これまでの支援事例の中には「若いときに仕事で挫折したことがあり、自信を失ったまま年齢を重ねていると感じる方」、「専業主婦で長い間就労機会から遠ざかっていたところ、離婚を原因に就労の必要性が生じたが、経験が少なく自信がない方」、「離婚を原因に自己肯定感などが低くなっており、就労に対する意欲にも影響が出ている方」、「離婚前においては、家計を補助する立場で、短時間・短期間で就労していたため、仕事の経験が少なく自信が持てない方」、「自信が持てず面接をすることが怖い方」といった事例があるとの意見が聞かれた。

また、同設問に対して、「アピールできる職歴・経験が不足している」（21.5%）、「自分の年齢に合う仕事がない」（20.0%）、「勤務先の労働条件が合っていない」（16.9%）、「やってみたいと思える仕事がない」（9.2%）など、求人とのミスマッチと言える課題も散見された。協会のひとり親コンシェルジュからは、これまでの支援事例の中にも「世の中にどのような仕事があるか知らない」、「求人は色々あるが、実際の業務内容のイメージが湧かず、一歩踏み出せない」といった事例が多くあるとの意見が聞かれた。

図1 働く上での課題・悩み（N=65）（MA）



### 3-3 タイミーの利用状況

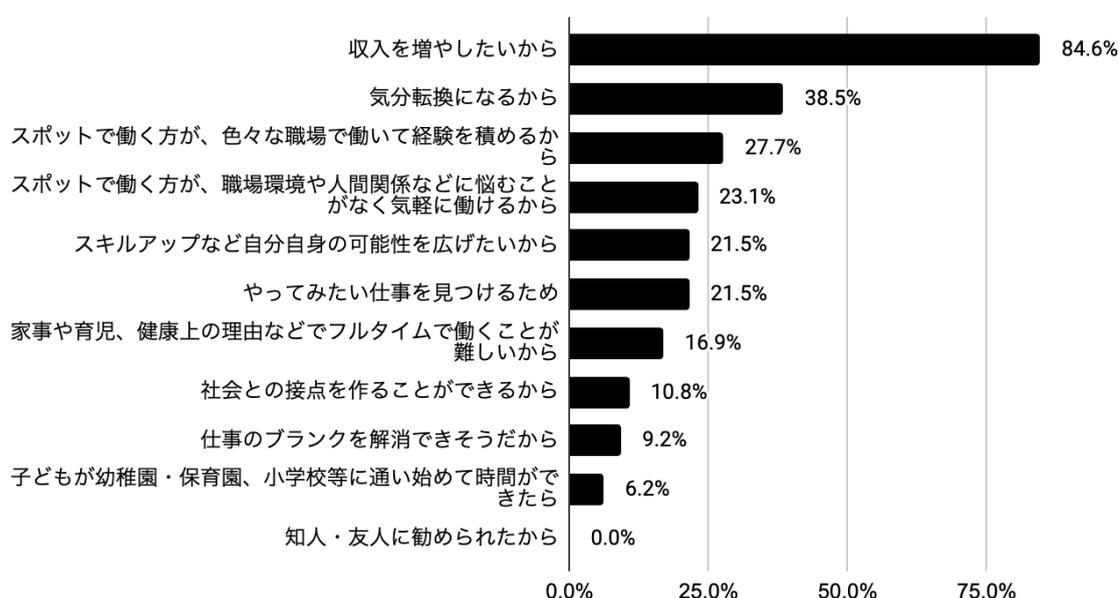
次に回答者のタイミーの利用状況を確認した。「利用して、働いたことがある」（以下、利用層）は13名、「利用して働いたことがないが、関心がある」（以下、関心層）は52名のサンプルを集めることができた。

なお、利用層と関心層を分けて集計した場合には、それぞれのサンプルサイズが小さくなることから、両層を統合した上で各種集計をまとめている（利用層、関心層それぞれの集計結果は付録1を参照されたい）。タイミーを活用する動機の方角感を把握するための質問であり、両層を統合した場合にも、その方角感の把握のためには問題ないものと整理した。

### 3-4 タイミーを活用している（したい）理由

このアンケートでは「初めてタイミーを使おうとしたときの動機を教えてください」（利用層）、「タイミーで働くことに関心がある理由を教えてください」（関心層）と尋ねている（図2）。これらの質問への全体の回答を見ると、「収入を増やしたいから」が84.6%と最も多く、次いで「気分転換になるから」（38.5%）、「スポットで働く方が、色々な職場で働いて経験を積めるから」（27.7%）、「スポットで働く方が、職場環境や人間関係などに悩むことなく気軽に働けるから」（23.1%）、「スキルアップなど自分自身の可能性を広げたいから」（21.5%）、「やってみたい仕事を見つけるため」（21.5%）と続いている。

図2 初めてタイミーを使おうとしたときの動機（タイミーで働くことに関心がある理由）  
(N=65) (MA)



この質問について、本業の雇用形態別（「正規雇用」と「正規雇用以外」）にみたものが表1である。フィッシャーの正確確率検定<sup>4</sup>を行ったところ、「家事や育児、健康上の理由などでフルタイムで働くことが難しいから」について「正規雇用以外」のシングルマザーの回答割合が25.0%と、「正規雇用」の4.0%より高く、統計的に有意となっている。また、「スキルアップなど自分自身の可能性を広げたいから」については、逆に「正規雇用」のシングルマザーの回答割合が36.0%と、「正規雇用以外」の12.5%より高く、統計的に有意となっている。それ以外の項目、特に「収入を増やしたいから」については、「正規雇用」と「正規雇用以外」のシングルマザーともにその割合が高く、統計的に有意な差は見られなかった。

表1 タイミーを活用した（活用したい）理由（本業の雇用形態等の別）（N=65）

	正規雇用	正規雇用以外	全体	フィッシャーの正確率 検定（両側P値）
収入を増やしたいから	88.0%	82.5%	84.6%	0.729
家事や育児、健康上の理由などでフルタイムで働くことが難しいから	4.0%	25.0%	16.9%	0.040 *
スポットで働く方が、職場環境や人間関係などに悩むことがなく気軽に働けるから	32.0%	17.5%	23.1%	0.230
スポットで働く方が、色々な職場で働いて経験を積めるから	24.0%	30.0%	27.7%	0.777
子どもが幼稚園・保育園、小学校等に通い始めて時間ができたから	4.0%	7.5%	6.2%	1.000
スキルアップなど自分自身の可能性を広げたいから	36.0%	12.5%	21.5%	0.033 *
やってみたい仕事を見つけるため	24.0%	20.0%	21.5%	0.762
仕事のブランクを解消できそうだから	0.0%	15.0%	9.2%	0.074
気分転換になるから	52.0%	30.0%	38.5%	0.116
社会との接点を作ることができるから	8.0%	12.5%	10.8%	0.698
知人・友人に勧められたから	0.0%	0.0%	0.0%	1.000

注：1) 各項目について、選択した場合を「はい」、選択しなかった場合を「いいえ」と答えたものとみなし、「はい・いいえ」と「正規雇用・正規雇用以外」の2×2のクロス表の形に整理し、フィッシャーの正確確率検定を行ったものである。

2) P値が0.05（有意水準）未満の場合を\*としている。

3) 「正規雇用以外」は、アンケート調査の選択肢「契約社員として働いている」、「派遣社員として働いている」、「パート・アルバイトとして働いている」、「自営業として働いている」、「働いていない」及び「その他」の回答を合計したものの。

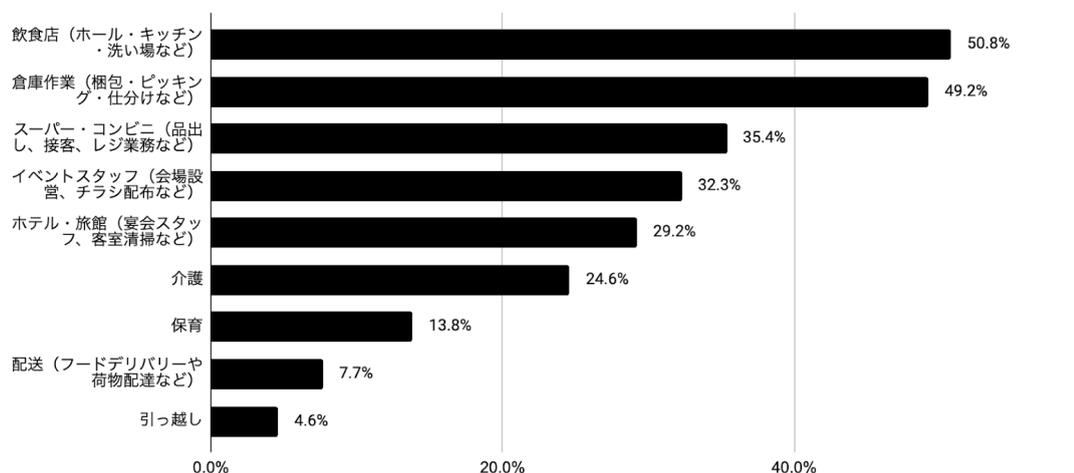
<sup>4</sup> サンプルサイズが小さい場合（期待度数が1未満のセルがある場合や、期待度数が5未満のセルがあり全体のセルの20%以上ある場合）には、カイ二乗分布による検定は不適当であり、フィッシャーの正確確率検定を用いるものとされている。

### 3-5 タイミーを活用して働いた（働きたい）仕事

図3は、利用層及び関心層がタイミーを活用して働いた（働きたい）仕事の割合である。「飲食店（ホール・キッチン・洗い場など）」が50.8%と最も高くなっており、次いで「倉庫作業（梱包・ピッキング・仕分けなど）」（49.2%）、「スーパー・コンビニ（品出し、接客、レジ業務など）」（35.4%）の順に多くなっている。

そのほか、「介護」（24.6%）、「保育」（13.8%）と回答した者が一定数いることも注目される。

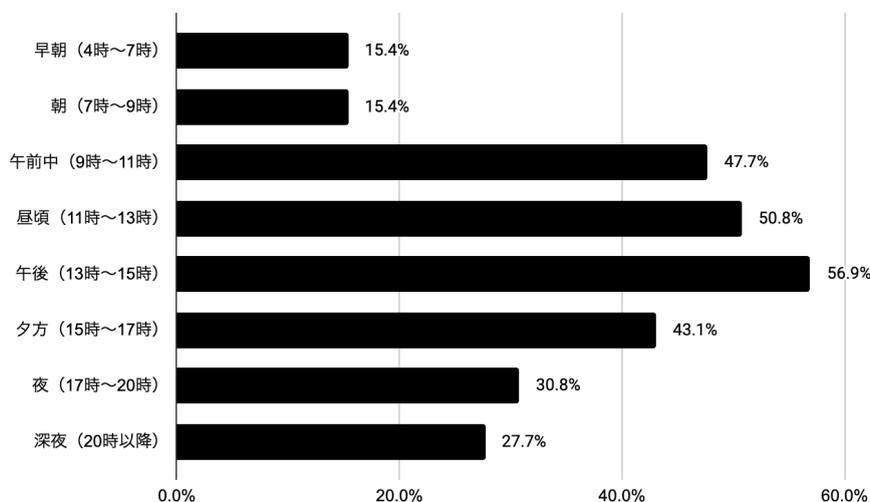
図3 タイミーを活用して働いた（働きたい）仕事（N=65）（MA）



### 3-6 タイミーを活用して働く場合の就業（希望）時間帯

図4は、利用層及び関心層のタイミーを活用して働いた（働きたい）時間帯の回答割合である。最も高い割合になっているのが「午後（13時～15時）」の56.9%であり、次いで「昼頃（11時～13時）」（50.8%）、「午前中（9時～11時）」（47.7%）となっている。

図4 タイミーを活用して働いた（働きたい）時間帯（N=65）（MA）



## 4 インタビュー調査結果の概要

### 4-1 調査概要

タイミーの具体的な利用方法及び利用理由を詳細に把握するため、アンケート調査に協力いただいた会員の中から12名を対象として、2025年2月10日から同年2月27日にかけて、1人当たり30分～60分程度のオンラインのインタビュー調査を実施した。

インタビュー調査の対象者の属性やタイミーの利用状況は表2にまとめており、利用層は5名（30代2名、40代2名、50代1名）、関心層は7名（30代1名、40代4名、50代2名）となっている。オンラインインタビューを行うにあたっては、インタビュー内容を録音することや、個人が特定されないよう配慮した上で報告書としてまとめ公表することを伝達し、同意を得ている。

なお、本調査はタイミーをすでに活用したことがある者またはタイミーの活用に関心がある者に対して行っており、タイミーに対して一定程度、肯定的な立場にある者へのインタビューであることに留意が必要である。

表2 インタビュー調査対象者の概要

略称	年齢	子どもの年齢等	本業の雇用形態等	タイミー等の利用状況
A	40代	小学2年	パートタイム	なし（関心あり）
B	50代	中学生、高校生	個人事業主	なし（関心あり）
C	30代	小学3年	派遣労働者	あり
D	40代	4歳	契約社員（準社員）	なし（関心あり）
E	40代	中学1年、小学3年	修学中（看護学校）	あり
F	40代	中学2年、小学6年	求職活動中	なし（関心あり）
G	40代	小学1年、4年	フルタイムパート（内定）	あり
H	40代	社会人	正社員（予定）	なし（関心あり）
I	30代	3歳、小学1年	パートタイム	あり
J	50代	高校3年、大学2年	派遣労働者	あり
K	30代	3歳	会社役員	なし（関心あり）
L	50代	社会人2人	個人事業主	なし（関心あり）

※ 各項目は調査時点のものである。

## 4-2 インタビュー調査の項目

以下を基本のインタビュー項目として調査を実施した。

0.基本属性	<ul style="list-style-type: none"><li>● 年代、家族構成、現在の就労状況（雇用形態、職種、働いている期間）</li><li>● 仕事探しの状況（求職活動中、副業の仕事を探しているなど）</li><li>● 仕事をしている（していく）上での課題感</li></ul>
1.タイミーの活用方法（または活用意向）	<ul style="list-style-type: none"><li>● 利用頻度</li><li>● 利用目的・使ったきっかけ</li><li>● 働いている（働きたい）職種</li><li>● タイミーで仕事を選ぶ際に重視していること</li><li>● タイミーを活用して働いた仕事先でのエピソード（印象に残っている仕事）</li><li>● 利用時間の傾向（意向）</li><li>● 勤務場所の傾向（意向）</li><li>● リピート勤務の意向／様々な仕事での勤務の意向</li><li>● 今後のライフスタイルの変化により、タイミーの活用方法が変わるか</li></ul>
2.タイミーを活用したことによる効果（または期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"><li>● 活用したことによる、気持ちの変化（仕事面／プライベート面）</li><li>● 活用したことによる、経験・スキルの変化</li><li>● タイミーの働き方で、メリットと感じている部分（通常のパート・アルバイトや正社員の働き方と異なる点）</li></ul>

## 4-3 インタビュー調査結果から窺えるタイミーの利用による就労支援上の貢献可能性

### 4-3-1 就職に向けたシームレスな支援

#### 【関連するインタビュー調査の声】

- ・「事前のアンケートでは、現在抱えている課題として「人付き合いに苦手意識を持っている」を選択した。タイミーは一日単位で、人間関係に深く入り込むわけではないところも関心がある理由の一つ。」（Bさん、50代、個人事業主）
- ・「相互評価の機能で、企業の情報があったら見ると思う。特に人間関係について、過去の勤務経験の中では、仕事を教えてくれなかったり、「早く覚えてほしい」と言われたりした経験がある。仕事をしていく上でのコミュニケーションのところも気になるので、相互評価でそのような情報を入手できたらいい。」（Bさん、50代、個人事業主）
- ・「どのくらいの就業場所であれば働けるのか、どの時間帯であれば働けるのかについて、タイミーによりシミュレーションをして、確かめていくようなこともしていきたい。タイミーで一度、9時からの仕事で働いてみたところ、9時からでも間に合うことに気づけた。今後の仕事選びの参考になりそう。」（Gさん、40代、フルタイムパート（内定））
- ・「書類選考の履歴書の職歴欄にも、タイミーでこれまでに働いた勤務内容は記載した。また、面接の際にもタイミーでイベントスタッフ、会計事務所で働いたことを伝えた。専業主婦でまるつきり働いていない状況とは、企業の印象が違うと感じた。」（Iさん、30代、パートタイム）

#### 【ひとり親コンシェルジュの声】

専業主婦の期間が長く、社会に出ることだけで大きな負担を感じる方は多い。そのような方の就労支援では、恐怖心の払拭がスタートとなる。そのために参加ハードルの低い「企業説明会の実施」、「キャリアの棚卸」などから自信を取り戻す支援を実施している。そこから、次の一歩としてタイミーを利用することは、有用なステップになりうると考える。

#### ～考察～

タイミーは、履歴書や面接無しですぐ働くことができ、一日単位の雇用契約であることから、働く上での心理的なハードルが下がるという特徴があり、就業までの敷居が低い働き方と捉えることができる。シングルマザーは、働く上で「自分に自信が持てない」、「人付き合いに苦手意識を持っている」、「面接を受けることが怖い」など、就労に対する「意識面」及び「精神面」の課題や悩みを有する傾向がある（3-2参照）が、就業までの敷居が低い働き方は、就労の第一歩目を踏み出したり、就労経験を蓄積していくことに向けて積極的な役割を果たすものと考えられる。

また、タイミーにおいては、業務終了後にワーカーと事業者それぞれが相互に評価を記載できる仕組みを構築している。ワーカーが事業者を評価した内容は、他のワーカーも確認す

ることができ、まだその職場で勤務したことがないワーカーが安心して仕事を選ぶことができるようになってきている。働く上での課題・悩みに「人付き合いに苦手意識を持っている」といった回答もあったが、第三者の評価が蓄積され、どのような職場環境であるかを事前に把握することができることで、心理的なハードルが一定解消され、就労機会につながる可能性がある。

さらに、シングルマザーの中には、実務経験がない又は少ないことで、「(書類選考や面接で)アピールできる職歴・経験が不足している」と考える場合もあるものと考えられる。この点、Iさんからのコメントにあるように、タイミーの働き方は、無償の職場体験等と比べると、一日単位ではあるものの、雇用契約のもと事業者からの指揮命令に基づき働くことになるため、実務経験として書類選考や面接でPRすることも可能になるものと考えられる。また、相互評価の機能により、実際に働いた事業者からのフィードバックが記録として残るため、それらを客観的な評価として、面接時にアピールできるものと考えられる。

そのほか、Gさんからのコメントにあるように、タイミーで働くことで、本格就労に向けたシミュレーションを行うこともできる。自身がどの程度の就業日数なら仕事ができるのか、どの就業時間帯・通勤距離であれば子育てと両立できるのかを確認し、その上で本格就労に向けた求職活動を行う際の労働条件の設定を検討していくことも可能と考えられる。

#### 4-3-2 就労意欲の維持・向上

##### 【関連するインタビュー調査の声】

- ・「相互評価の機能で、企業から自分に対する評価を確認できるのはメリットだと感じる。もちろん、マイナスな意見があれば落ち込むかもしれないが、どう改善した方がいいのかを考え、プラスに転換できるので、メリットと感じる。」（Dさん、40代、契約社員（準社員））
- ・「求職活動が長引いてしまった際に、タイミーで働くことで気分転換にはなると思う。」（Fさん、40代、求職活動中）
- ・「タイミーで働くことで長期雇用の話もあり、自己肯定感が上がった。2箇所から長期雇用の話があった。頑張ったことが認められたという気持ちになった。」（Iさん、30代、パートタイム）
- ・「単発にいくとき、1回だけではあるが、手を抜いてはいけないと思っている。勤務する事業者と良い関係でいて、自分もやりたいと思って、次も先方も呼んでくれる状態で帰りたいと思っている。なので、相互評価の機能で評価してくれるのは嬉しい。実際、評価してくれた事業者に複数回働きにいった。」（Jさん、50代、派遣労働者）

##### 【ひとり親コンシェルジュの声】

シングルマザーのキャリア相談の中で「何もできない」、「何もしてこなかった」との発言は多い。結婚前にはしっかりと働いてきた方も多いが、社会から離れている期間に周りから評価されることが少なく自身喪失につながっている。そのような場合に、タイミーで働き「誰かに評価される・役に立つ」という経験を得ることで、大きな自信につながる可能性があると考えられる。

##### ～考察～

4-3-1で触れたタイミーの相互評価の機能により、事業者は勤務したワーカーの仕事ぶりをGood/Badの2択及びテキストコメントで評価することができる。事業者から仕事ぶりなどに対するコメントをもらうことで、就労意欲の維持・向上につながっていくことが期待される。

また、すでに安定雇用に向けて協会等の支援を受けている方が、書類選考や面接で不採用が続き、自信を失い、そのことで求職活動に前向きさが失われるケースも就労支援の場では度々起こる。一度、タイミーを利用して働くことで自信を取り戻したり、自身の強みを再確認し、再度、前向きに求職活動ができるようになるなどの効果も期待される。

#### 4-3-3 柔軟で多様な働き方の提供

##### 【関連するインタビュー調査の声】

- ・「個人事業主として働くと、仕事の曜日・時間が定まっていない。突発的に仕事が入る。それに、通常のスーパーのパートタイム労働を組み合わせると、時間・曜日を動かすのに大変なため、個人事業主としての仕事と両立させるのが難しい。」（Bさん、50代、個人事業主）
- ・「就業時間は、土日の副業で考えると、昼食から夕食までの間の14時から16時くらいが一番嬉しい。ご飯を作る準備もあるし、子どもは留守番はできるものの、休日くらいは子どもと一緒にご飯を食べたいという気持ちがある。」（Cさん、30代、派遣労働者）
- ・「子ども（中学生）がスポーツの習い事をしているため、土日はそちらの方の対応に忙しく、土日に仕事はできない状況。また、平日も子の習い事の練習の送迎があるため、例えば、18時くらいまでの就業は難しく、働く時間帯に制約がある状況」、「日中で子どもが学校に行っていて、送迎に差し支えない時間に（タイミーを）活用していた。」（Eさん、40代、修学中）
- ・「母の認知症がどうなるか見えないが、もし症状が進行した際に、タイミーでスキマで働き何とかするという選択肢があることはありがたい。」（Fさん、40代、求職活動中）
- ・「求職活動中にタイミーを活用することに関心を持っている。今年の3月までに就職先を決めたいが、うまくいかないケースもあり得る。その場合は、雇用保険の受給期間が3月に終わってしまうので、そのマイナス部分をタイミーで補填できればいいなと思っている。」（Fさん、40代、求職活動中）
- ・「時間帯としては、早朝、朝、深夜を考えている。日中については、優先順位の高い求職活動の時間に当てて、それ以外の時間にタイミーで働くことになると思う。」（Fさん、40代、求職活動中）
- ・「離婚の前後は、夫が帰ってこない、お金を家に入れない状態で、すぐにお金が必要で、その際にタイミーを使った。」（Iさん、30代、パートタイム）

##### 【ひとり親コンシェルジュの声】

子育て中の時間的制約は、シングルマザーに限ったことではない。しかし、シングルマザーの場合、家庭内での役割が多く心理的負担が特に大きいものと思われる。また、職場や周りの人に迷惑をかけたくないという思いが強く、責任のある仕事を回避する傾向にある。そのような状態でも、生活費が必要であることは事実であるため、スキマ時間を有効活用できる働き方は、安心感をもって積極的に活用していけるものと思われる。

##### ～考察～

シングルマザーの中には、時間的制約がある方や、健康上の理由で長時間の就労が困難な方もいる。前述のアンケート調査でも「希望する時間帯の仕事がない」（26.2%）や「健康上の理由で働くことができない／働く時間場所等に制限がある」（16.9%）などの回答が一定数あった。そのような場合であっても、タイミーの「一日単位」及び「面接・履歴書な

し」という特徴から生まれる「就業までの敷居が低い」働き方であれば、就労の機会を得ることができる。

シングルマザーの場合には、時間的制約から求職活動を控えたり、求職活動中も「希望する時間帯の仕事がない」などの理由で失業期間が長期化する場合があります、その場合には、求職活動の再開のハードルが高くなることが予想される。また、失業期間が長期化した場合には「自分に価値がなく仕事が見つからないかもしれないという恐怖感にかられた」など、精神面の影響も出てくることも想定される<sup>5</sup>。そのような場合であっても、タイミーを活用して短期間・短時間でも働くことで、ブランクを回避することができ、本格的な求職活動へのシームレスなつなぎ及び失業期間中の精神面の負担軽減が期待できる。

また、Fさんのコメントにあるように、求職活動中に雇用保険の受給期間が終わってしまう場合や、再就職先が決まったものの仕事が始まるまで期間が空く場合に、タイミーを利用して収入を得ることで、生活面の不安を軽減させることにつながるものと考えられる。

さらに、タイミーでは、タイミーが一時立て替え払いする機能があり、業務終了後、ワーカーから賃金の振込申請をすることにより、24時間365日いつでも、事前に登録した銀行口座に賃金を受けとることができる。子どもの学校行事等や離婚に伴い緊急でお金が必要となる場合などに、タイミーを活用することがすぐにお金を得る一つの方法になるものと考えられる。

---

<sup>5</sup> 独立行政法人労働政策研究・研修機構「長期失業者の求職活動と就業実態」（2006年7月。JILPT調査シリーズNo.22）によると、失業期間が1年以上に及ぶ長期失業者が「日常生活で困ったこと・苦しいこと」として、「自分に価値がなく仕事が見つからないかもしれないという恐怖感にかられた」が55.7%と最も高く、「疲れや気力の無さを強く感じた」（34.6%）、「一日中憂うつで何にも興味が持てなくなってしまった」（22.0%）など、精神面への影響が出ている結果が見られた。

#### 4-3-4 ミスマッチの減退

##### 【関連するインタビュー調査の声】

- ・「介護の仕事のうち排泄介助など、自身の適性に合うのかやってみないとわからない部分もある。初任者研修の資格を取得しているが、転職しても、すぐ離職してしまう可能性がある。このため、まずはタイミーを使って何回か介護現場で働いてみて、介護の仕事も大丈夫と判断できたら、本格的に転職活動をしていくという流れも考えている。」（Cさん、30代、派遣労働者）
- ・「今のパートタイム労働（保育補助）の延長線上で、他の職場を見てみたいという気持ちがある。保育所は職場によっていろんなところがある印象。他の保育士の方に聞くと、怒鳴り声が飛んでいる職場や、辞めたいけどなかなか辞められない職場などがあると聞く。タイミーで、あらかじめ職場環境を見ることができるのは、いいと思う。職場に笑顔があるかなどの職場の雰囲気、人間関係が見ることができるのは、タイミーの魅力。」（Aさん、40代、パートタイム）

##### 【ひとり親コンシェルジュの声】

就職を希望する支援対象者の中には、イメージできない仕事への抵抗が強く、「未経験である私には合っていない」と辞退されることも多い。まずは、見学も含めた職業理解の促進から支援をスタートしている。見学の場合、実際に働ける事業所はない。タイミーを活用することで多くの職種で実際の仕事の経験を行うことができるため、支援として有用であると考えられる。

#### ～考察～

前述のアンケート調査では、就労経験の少なさ等から「アピールできる職歴・経験が不足している」（21.5%）、「やってみたいと思える仕事がない」（9.2%）など、求職活動中の職種選択に関する課題・悩みを持っている場合も一定あることがわかった。

こうした場合、一般的には、キャリアカウンセリングによって過去の経験を棚卸しして、希望職種を選定するなどされているが、未経験業務で働く場合には、働く前にイメージしていた業務内容と実際の業務内容に乖離が生じ、離職してしまうリスクが一定残る。可能な限り、就職前に業務内容を正しく理解し、ミスマッチを解消していくことが必要となる。

特に保育や介護等の資格取得を目指す前に、介護助手等の仕事を行い、自身の職業適性を判断することや、資格取得後に本格就労する前に、タイミーを活用して有資格の仕事を行い、各施設の特徴を見定めてから、職場を選択するといった使い方は有効と考えられる。また、具体的な希望職種が全く定まっていない場合であっても、タイミーにより様々な仕事を体験することで、職業興味<sup>6</sup>の方向性を探索し、希望職種の大まかな傾向を把握することは可能と考えられる。

<sup>6</sup> ジョン・L・ホランドの「ホランドの職業選択理論」においては、「人間のパーソナリティは6つに分けられ、環境も同じ6つに分類される。人間の行動はパーソナリティの表出行動そのものだから、職業選択に当たっても、できるだけ同じ類型になるようにした方が成功の度合いが高まる」という考え方を理論化し、この6つの類型を、現実的(R)、研究的(I)、社会的(S)、慣習的(C)、企業的(E)、芸術的(A)であるとした（厚生労働省「キャリア・コンサルティング技法等に関する調査研究報告書」（平成13年5月17日）から抜粋）。タイミー等のスキマバイトサービスを活用することで、R、C、Eなどの職業興味の方向性を探索し、希望職種の大まかな傾向を把握することは可能と考えられる。

#### 4-3-5 収入の補填及びウェルビーイングの向上

##### 【関連するインタビュー調査の声】

###### <収入の補填>

- ・「現在のレジの仕事は、勤務日数も限られているので、（収入は）それほどない。収入を上げたいと思っている。月に5万円くらいプラスで稼げると嬉しい。使い道としては、生活費が中心。子どもが、高校にあがったり、大学に行ったりすると、必要なお金も増えてくるので先の不安を感じている。」（Bさん、50代、個人事業主）
- ・「使い道としては、自分の学費に使ったこともあるし、子どもの習い事の遠征代などで使った。」（Eさん、40代、修学中）
- ・（再掲）「求職活動中にタイミーを活用することに関心を持っている。今年の3月までに就職先を決めたいが、うまくいかないケースもあり得る。その場合は、雇用保険の受給期間が3月に終わってしまうので、そのマイナス部分をタイミーで補填できればいいなと思っている。」（Fさん、40代、求職活動中）
- ・「生活がギリギリの状況なので、使い道は生活費になると思うが、余裕がでてきたら、子どもの習い事（教育費）にも使えたらと思っている。」（Iさん、30代、パートタイム）

###### <ウェルビーイングの向上>

- ・「生活費と娯楽費をあまり分けていない。例えば、子どもと外食をして、意外と月の収支が厳しくなったら「タイミーをあと数回すれば何とかなる」という考え方になる。タイミーがあることによって、結果的に贅沢な経験ができる。タイミーで仕事ができるという存在が保険になりうると思う。存在を知っていること、繋がりがあることの安心感がある。」（Cさん、30代、派遣労働者）
- ・「タイミーで働くことによって、気分転換になる。家と会社の往復で同じことをやっているより、お金を稼ぎながら他の業界の裏側を知ることが好奇心が刺激される。」（Cさん、30代、派遣労働者）
- ・「今は、家庭と職場との関係が中心であり、新たなコミュニティを広げる観点では、タイミーを使っていく価値がある。タイミーを通じて、他者と触れ合うことで、気分転換になると思っている。」（Dさん、40代、契約社員（準社員））
- ・「スキマバイトは、今しかできないことでもある。実習が終わりその忙しさから解放されたタイミングで、違うことをしてみたいということで利用した。実習との間に、空き時間ができるので、その落ち着いたタイミングで使った。」（Eさん、40代、修学中）
- ・「正社員で働くのであれば、そこで収入は一定得られるので、知りたい地域や業種・業界、人を知るという目的で、タイミーを利用する可能性がある。」（Hさん、40代、正社員（予定））
- ・「旅行先では、どのような仕事でもいいが、例えば、旅館の仕事もしてその地域で観光もして、といったことがタイミーであればできる。」（Hさん、40代、正社員（予定））

### 【ひとり親コンシェルジュの声】

シングルマザーは自分のことを後回しにすることが多く、少しの贅沢も許さず、結果的にストレスを抱えてしまう方も多い。自分のためにお金を使うことをお勧めする場面も多くあり、相談の場所でそう言われることで安心したという声も聞かれる。タイミーにより少しでも金銭的な余裕を持ち、自分のためにお金を使うことを促す支援は有効である。

### ～考察～

時間的な制約があるシングルマザーの場合には、本業のほかに、パートタイム労働等を副業として実施し両立させていくことは難しいことから、スキマ時間で収入を補填していくことは一つの有効な選択肢になるだろう。

また、一部のインタビュー調査（Cさん）の事例では、子どもとの生活や自分自身の人生を充実させるため、まずは一定好きなことにお金を使い、仮に家計の収支バランスが取れない場合には、タイミーを活用することにより収入を補填していくという発想を持つ方もいた。積極的に推奨するかどうか議論の余地はあるものの、急な出費（子どもの行事など）により本業だけでは収支のバランスが取れない時に、タイミーを活用し事後的に収支のバランスを取っていくという発想は、短期的な対応<sup>7</sup>としては考え得るものだろう。

さらに、子どもが自立し時間の制約が少なくなったことから、観光しながらタイミーで働き、全国各地で多様な経験をして人生を充実させることを目的にタイミーを利用することを考えているという事例（Hさん）も見られた。

<sup>7</sup> 中長期的には、雇用の安定化等を目指し毎月の収入を増やすことや、支出を抑えるための取組が必要である。

## 5 おわりに

以上の調査結果から、タイミーの利用によるシングルマザーの就労支援上の貢献可能性は一定あることがわかった。子どもの年齢によるニーズの違いや、求職活動や副業などのニーズの違いによって、タイミーの活用方法も期待するものも変わってくる。協会が行う生活支援などと一体となった就労支援の中で、ひとり親コンシェルジュ等の支援者が、シングルマザー本人の置かれている環境も踏まえながらタイミーの活用方法について助言を行っていくことで、より一層一人ひとりのニーズに即した支援につながるものと考えている。

本件に関する問い合わせ：

株式会社タイミー スポットワーク研究所

E-mail:[info-spotwork@timee.co.jp](mailto:info-spotwork@timee.co.jp)

## 付録1 タイミーの利用に関するアンケート調査

協会の会員向けメールマガジンを活用して、会員を対象として、タイミーの利用に関するアンケート調査を実施した。調査期間は2025年1月17日～同年2月8日で、回答者（回収数）は66名。

Q あなたのタイミーのサービスの利用状況について教えてください。（SA）（n=66）

利用して、働いたことがある	19.7%
利用して働いたことがないが、関心がある	78.8%
関心がない	1.5%

【タイミーを利用して、働いたことがある（n=13）】

Q これまで何回くらいタイミーを使って仕事をしたことがありますか。（SA）

1回	15.4%
2～3回	15.4%
4～5回	7.7%
6～9回	0.0%
10回以上	61.5%
わからない	0.0%

Q あなたがタイミーで働くことが多い時間帯をお選びください。（MA）

早朝（4時～7時）	0.0%
朝（7時～9時）	7.7%
午前中（9時～11時）	76.9%
昼頃（11時～13時）	76.9%
午後（13時～15時）	76.9%
夕方（15時～17時）	76.9%
夜（17時～20時）	38.5%
深夜（20時以降）	7.7%

Q タイミーを活用して、どのようなお仕事を働きましたか。(MA)

倉庫作業（梱包・ピッキング・仕分けなど）	15.4%
飲食店（ホール・キッチン・洗い場など）	61.5%
スーパー・コンビニ（品出し、接客、レジ業務など）	61.5%
配送（フードデリバリーや荷物配達など）	0.0%
イベントスタッフ（会場設営、チラシ配布など）	23.1%
ホテル・旅館（宴会スタッフ、客室清掃など）	15.4%
引越し	7.7%
介護	15.4%
保育	0.0%

Q 初めてタイミーを使おうとしたときの動機を教えてください。(MA)

収入を増やしたいから	76.9%
家事や育児、健康上の理由などでフルタイムで働くことが難しいから	15.4%
スポットで働く方が、職場環境や人間関係などに悩むことなく気軽に働けるから	23.1%
スポットで働く方が、色々な職場で働いて経験を積めるから	46.2%
子どもが幼稚園・保育園、小学校等に通い始めて時間ができたら	15.4%
スキルアップなど自分自身の可能性を広げたいと思ったから	7.7%
やってみたい仕事を見つけるため	23.1%
仕事のブランクを解消できそうだから	7.7%
気分転換になるから	30.8%
社会との接点を作ることができるから	7.7%
知人・友人に勧められたから	0.0%

【タイミーを利用して働いたことがないが、関心がある（N=52）】

Q タイミーを利用するとしたら、どのくらいのペースで利用したいと思いますか。（SA）

週5～7日程度	0.0%
週3～4日程度	9.6%
週1～2日程度	32.7%
月に数日程度	40.4%
特に考えていない	17.3%

Q あなたがタイミーで働きたいと思う時間帯をお選びください。（MA）

早朝（4時～7時）	19.2%
朝（7時～9時）	17.3%
午前中（9時～11時）	40.4%
昼頃（11時～13時）	44.2%
午後（13時～15時）	51.9%
夕方（15時～17時）	34.6%
夜（17時～20時）	28.8%
深夜（20時以降）	32.7%

Q どのようなお仕事でタイミーを利用したいと思いますか。（MA）

倉庫作業（梱包・ピッキング・仕分けなど）	57.7%
飲食店（ホール・キッチン・洗い場など）	48.1%
スーパー・コンビニ（品出し、接客、レジ業務など）	28.8%
配送（フードデリバリーや荷物配達など）	9.6%
イベントスタッフ（会場設営、チラシ配布など）	34.6%
ホテル・旅館（宴会スタッフ、客室清掃など）	32.7%
引越し	3.8%
介護	26.9%
保育	17.3%

Q タイミーで働くことに関心がある理由を教えてください。(MA)

収入を増やしたいから	86.5%
家事や育児、健康上の理由などでフルタイムで働くことが難しいから	17.3%
スポットで働く方が、職場環境や人間関係などに悩むことなく気軽に働けるから	23.1%
スポットで働く方が、色々な職場で働いて経験を積めるから	23.1%
子どもが幼稚園・保育園、小学校等に通り始めて時間ができたら	3.8%
スキルアップなど自分自身の可能性を広げたいと思ったから	25.0%
やってみたい仕事を見つけるため	21.2%
仕事のブランクを解消できそうだから	9.6%
気分転換になるから	40.4%
社会との接点を作ることができるから	11.5%
知人・友人に勧められたから	0.0%

【基本属性等 (N=65)】

Q 一緒に暮らしている (同居している) ご家族に、次のようなお子さんがいますか。(MA)

3歳未満	3.1%
3歳以上、小学校就学前	16.9%
小学生	35.4%
中学生	29.2%
高校生以上	49.2%
子供がいない (同居していない場合も含む)	3.1%

Q 現在、仕事をしていますか。(SA)

正社員として働いている	38.5%
契約社員として働いている	4.6%
派遣社員として働いている	10.8%
パート・アルバイトとして働いている	23.1%
自営業として働いている	6.2%
働いていない	9.2%
その他	7.6%

Q 働くことに関して、どのような課題・悩みを感じていますか。(MA)

収入が少ない(または「ない」)	75.4%
勤務先の労働条件が合っていない	16.9%
自分に自信を持ってない	27.7%
人付き合いに苦手意識を持っている	27.7%
子育てなどに疲れ切ってしまうと、気力がわかない	21.5%
就職活動において、アピールできる職歴・経験が不足している	21.5%
やってみたいと思える仕事がない	9.2%
希望する時間帯の仕事がない	26.2%
自分の年齢に合う仕事がない	20.0%
仕事のブランクがある	9.2%
子どもの育児等で働く時間を確保できない	16.9%
健康上の理由で働くことができない/働く時間場所等に制限がある)	16.9%
特に課題・悩みを感じていない	4.6%

## 付録2 インタビュー調査記録

### Aさん（タイミーの利用なし（関心あり））

#### 1) 基本属性

- 40代。小学校2年生の子どもが1人いる。
- 仕事は、平日5日、8時半～14時半（30分休憩）まで働いており、固定されている。子どもは小学2年生であり、仕事の就業時間内に下校時間が重なることもあるため、子どもは学童保育を利用している。

#### 2) 現在の仕事内容

- 仕事内容は、保育所での保育補助の仕事。パートタイム労働者として働いている。昨年4月から始めており、もうすぐ1年になる。
  - 2015年に一度、事務職の仕事を退職し、7年間仕事のブランクがあった。その間、訓練校に通ってMOSの資格をとったが、事務職での実務経験はなかった。
  - 2022年から半年間、派遣労働者としての仕事をするようになった。久々の社会復帰だった。
    - その際は、営業事務の仕事をした。派遣会社からも、資格があることも踏まえて勧められた。一方、営業事務の仕事はしたことがなく、資格があっても実務経験がなくつまづいた。久々の社会復帰ということもあったので、経験者に求められるような仕事量を求められた。
  - そこで、自分にこれまでどのような経験があるかを振り返り、「育児」の経験があることに着目し、保育士（補助）の仕事を目指すようになった。
- 保育補助の仕事の勤務場所は、車で1分程度の場所。近場で選ぶことを重視している。仮に交通費が出たとしても、通勤時間がかかることは家事育児等の観点で難しい。
- 今の勤務場所については、給与体系に不満がある。正社員とパートタイム労働者の賞与支給について査定がなかったり、正社員やパートで差がほとんどなかったり、そもそもその額が小さかったりする。
- また、パートの時給も上がってきているが、それは最低賃金が上がってるに伴うもので、今後の時給アップが期待できない。元々は、保育補助としての経験を積むことを目的としていたので、時給が低くても経験を得ることを重視して就職したが、正社員就職する際は給与のことを重視する必要があると考えている。

#### 3) 今後の将来設計

- 14時半までの仕事が終わった後に、保育士資格の受験に向けた勉強をしている。
- いずれは保育士資格をとって、正社員就職を目指している。
- 子どもがまだ小さいが、一人で留守番ができるようになったタイミングでフルタイムで働くことも考えている。

#### 4) タイミーの活用

- 現時点では、タイミーのアプリを活用していないが、関心がある。

- もしタイミーで働くとしたら、現在のパートに加えて活用するイメージを持っている。
- 現在のパートの仕事が14時半までなので、その後にタイミーを使えるといいと思っている。子どもの学童保育が18時まで預けられるので、14時～17時の間でできる仕事があればタイミーを利用してみたい。
- 理想の勤務場所は、現在の勤務先の保育所と自宅の間にあればいい。
- タイミーで働きたい職種としては、保育補助や飲食の仕事など。
- 保育補助（タイミー）は、今のパートタイム労働（保育補助）の延長線上で、他の職場を見てみたいという気持ちがある。保育所は職場によって様々なところがある印象。他の保育士の方に聞くと、怒鳴り声が飛んでいる職場や、辞めたいけどなかなか辞められない職場などがあると聞く。タイミーで、あらかじめ職場環境を見ることができるのはいいと思う。職場に笑顔があるかなど、職場の雰囲気や人間関係が見ることができるのはタイミーの魅力。
- タイミーで働き、様々な保育所の職場環境を見ることで、自身の今のパートタイム労働の仕事を客観的に見ることができる。
- タイミーで他にいい職場に出会えれば、そこで長期雇用を目指すのもいいと思う。
- そのほか、今の職場は時間給が低いので、タイミーの時間給ではどの程度の額になっているのかを確認し、保育所で働く場合の時給相場を確認することができるのもいい。
- あとは、飲食店で働くことで、保育補助の仕事では関わらない人と関わることができるというメリットがあるとも感じる。
- タイミーを使う理由としては「収入」面が大きい。物価が上がっており、その足しにすることが考えられる。
- 学校が休みの日で、自身も仕事を休める日は、子どもと過ごすことにしているが、たまに子どもを親に預けて、自分の用事に当てることもある。そういったときにタイミーで働くこともあり得る。
- 履歴書や面接の準備をすることは大変なもの。履歴書を購入する必要があるし、履歴書を記載する手間もある。また、パソコンを使って履歴書を書くことも考えられるが、プリンターが家がないので対応が難しい。タイミーの「履歴書なし」という特徴は、その観点でもありがたい。
- 一方、タイミーの仕事の中に未経験者でもすぐできる仕事が多くあるのかは、まだ検索したことがないので少し不安。

## Bさん（タイミーの利用なし（関心あり））

### 1) 基本属性

- 50代。高校生と中学生の子どもがいる。
- 介護の初任者研修の資格を持っている。
- 児童扶養手当を受給している。
- 50代になり子どもが大きくなり、時間的に余裕ができた分、現在は自分の興味ある勉強に時間を使っている。福祉ネイリストの資格をとって実際に介護施設に行ったり、高齢者のケアの仕事をしたりと、時間を当てている。

### 2) 現在の仕事内容

- 福祉ネイリストなど、介護関係の仕事をしている。教えてもらっている先生と一緒に施設に行き、技術の勉強をしている。一方で、生活の基盤が必要となるため、副業としてスーパーのレジの仕事を行っている。
- スーパーのレジの仕事は、パートタイム労働で行っており、週3～4日程度働いている。シフト制であり、曜日や時間は定まっていない。今の職場では3年程度働いている。
- 高校卒業後、28年間スーパーのレジ業務に従事。
- その時期に離婚しており、介護の仕事に移った方が給料がいいものと考え、介護資格を取得し転職。
- 介護の仕事で数年働いた。施設介護で看護助手も行っていたが、動きに自由のある訪問介護を中心に行っていた。
- 現在のスーパーのレジの仕事の課題としては、時間・曜日が動かしにくいことや、店舗側から「この日に出勤してほしい」などと依頼されてしまうことである。依頼は断れず、休暇も取りにくいいため、好きな時間で働けるようにしたいと考えている。
  - スーパーで働く方の中には、子どもが小さい方もおり、早く帰る傾向がある。このため、店舗側から私に対して「夕方までシフトを入れてほしい」などと依頼してくることもある。また、28年のレジの経験もあるため、お願いされることが多い。
  - 本当は、個人事業主（介護）の方の仕事に注力したい気持ちがあるが、そのバランスを取るのが難しい。

### 3) 今後の将来設計

- 現在勉強中の介護の仕事は個人事業主が多いため、自身も本業は個人事業主として働く予定。
- 生活基盤の観点で、レジの仕事も続けることを考えている。レジの仕事は28年間の経験があり、体が覚えているので、心身の負担が少ない。精神的な負担の大きい個人事業主の仕事と両立させやすいと考えている。
- 個人事業主として働くと、仕事の曜日・時間が定まっていない。突発的に仕事が入る。それに、通常のスーパーのパートタイム労働を組み合わせると、時間・曜日を動かしにくいいため、個人事業主としての仕事と両立させるのが難しい。

- 今後は、フリー（個人事業主）としての仕事を中心にしていく方向性であり、タイミーを組み合わせながら働いていくことも考えている。

#### 4) タイミーの活用

- 現時点でタイミーで働いた経験はないが、過去に介護の仕事をしていたこともあるので、介護職を検索をしていた。
- 使い方としては、昼まではフリーランスの仕事をして、その後にスキマ時間を埋めるような形でタイミーで働きたいと思っている。
- 自身の母親が近くに住んでいて、家事全般は対応してくれているので、子どもの育児との関係では、時間的な制約はない。生活費を稼ぐのは私の役割だと考えている。また、子どももクラブ（部活）で帰宅時間が遅くなってきているので、時間的制約は小さい。
- タイミーで働きたい仕事としては、レジの仕事。介護の仕事もできるが利用者がいて怪我をさせてはいけないなど、精神的な負担がある。一方、28年間レジの仕事をしてきており、慣れているものであるため、仕事をしていく上で気持ちが楽。本業の介護業務に加え、現在取得していない介護資格の勉強もしており、体力を消費しているので、慣れている仕事をやりたいという気持ちがある。
- 相互評価の機能で、企業の情報があつたら見ると思う。特に人間関係について、過去の勤務経験の中では、仕事を教えてくれなかったり、「早く覚えてほしい」と言われたりした経験がある。仕事をしていく上でのコミュニケーションのところも気になるので、相互評価でそのような情報を入手できたらいい。

#### (人間関係)

- 仕事をしていく上で、人間関係も悩みの一つ。現在の職場では人の話に合わせることに苦労している。
- 前に派遣労働者として働いていたとき、スタッフ（社員等）との距離感があり、気持ちが楽だった。事前のアンケートでは、現在抱えている課題として「人付き合いに苦手意識を持っている」を選択した。タイミーは一日単位で、人間関係に深く入り込むわけではないところも関心がある理由の一つ。
- 一度タイミーで働いた職場の人間関係が合わなければ、別の求人に応募することになると思うが、一方、職場環境も含めて自分に合っている職場であれば、同じ勤務場所に複数回働くこともあり得る。

#### (収入)

- 事前のアンケートで、課題として「収入が少ない」を選択し、タイミーに関心がある理由として「収入を増やしたいから」を選択した。
- 現在のレジの仕事は、勤務日数も限られているため、収入がそれほどない。収入を上げたいと思っている。月に5万円くらいプラスで稼げると嬉しい。
- 使い道は生活費が中心。子どもが高校生になったり、大学に行ったりすると、必要なお金も増えてくるため先の不安を感じている。

#### (充実感)

- 最近、入浴介助の仕事を週2日・1時間行っているが、利用者に喜んでもらえ、介護の仕事が嫌いではないことに気づいた。短い時間だが充実感を感じている。タイミーの働き方は、そういった仕事に対する充実感を得られることが期待される。

## Cさん（タイミーの利用あり）

### 1) 基本属性

- 30代。小学3年生の息子がいる。
- 子どもが不登校。平日は自宅におり、土日は元夫のところに遊びに行ってる。

### 2) 現在の仕事内容

- 不登校の子どもは留守番ができるので、平日にフルタイム（9:00-17:30）で派遣労働者として事務職で働いている。残業は基本的に発生しない働き方。
- 職場は自宅から近く、自転車で10分くらいの距離。
- 現在の派遣先の職場では、昨年6月から働いている。現時点で1年弱となる。
- 派遣労働者としては2年ほど働いている。現在の派遣先の職場は2社目。
- 結婚後、専業主婦として7年間を過ごし、その後、正社員で営業の仕事をしており、計2社で1年半ほど働いた。その後、子どもの不登校のこともありケアが必要になったため、定時で仕事が終わる事務職（派遣労働）の仕事にシフトした。

### 3) 今後の将来設計

- きっかけがあれば、派遣労働者としてではなく正社員として働きたいと考えている。
- 仕事内容もコツコツ行う事務職より、人と話すことが好きなので、人と話すことを活かせる仕事に就きたいと考えている。
- ただし、子どもが不登校であるため、仕事内容や給与面よりも、職場からの通勤距離の条件を最優先に考えている。現在の仕事も、昼休みに子どもの食事準備のために自宅に戻ることができる距離。
- 求人情報は確認をしているが、やりたい仕事であって、かつ家からの距離も近いものが見つからず、現在、求職活動は保留している状況。

### 4) タイミーの活用

- タイミーでの仕事経験があり、現時点で10回以上の勤務をした経験がある。
- 収入が少ないときに、集中的に使うことが多い。
- 最初に登録したきっかけは、2019年10月のとき。元夫は運転手の仕事をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が下がった。私は専業主婦だったが、私が働きに出て収入を補填し、代わりに夫が幼稚園の子どもの面倒をみていた。
  - その際、タイミーのような単発のアルバイトをあえて選択した。通常のパートタイム労働だと、事業所から長期で働いてほしい（※仕事を続けてほしい）と言われる可能性がある。元夫の仕事の状況が変われば（※仕事がまた忙しくなれば）、専業主婦に戻ることを前提としていたので、一日単位の契約であるタイミーとの相性が良かった。
  - 事前のアンケートでタイミーを活用する理由として「スポットで働く方が、職場環境や人間関係などに悩むことなく気軽に働けるから」を選択した。その理由は、こういった考え方から。

- また、派遣労働者として働くようになって、契約更新のタイミングで次の仕事が1か月間ほど決まらない時期があった。その際に、タイミーをピンチヒッターとして活用した。
- 今の仕事は時給制であるため、正月やゴールデンウィークなど祝日が入ってしまうような月は収入が下がるので、休みの半分は子どもとの時間に費やし、もう半分はタイミーで働いている。
  - 祝日で収入が減った額の全てをタイミーで補填するのは難しいが、5～8割程度補填することは可能。
    - 募集している時間が短いこと、初めていく場所なので少し余裕を持って出勤することから、派遣労働で働く時間と比較すると、少し短めの時間で利用している。このため、5～8割程度の補填となる。
- 気に入った勤務場所があれば、同じ職場で2～3回働くこともあるが、アプリ上にはいろいろな求人があるので、その都度、公開されている求人を選んでいく。
- 求人を選ぶ際は、通勤距離、時給、無理なく働けそうか否かという点を見ている。
  - 「無理なく働けそうか」は、例えば、同じチラシ配りでも、真夏はやりたくない、飲食店は覚えることが多そうなので避ける、という意味。飲食の仕事であれば、お皿洗いのみの仕事内容の求人を選ぶようにしている。また、体力的・精神的に半日程度働けそうな勤務場所を選んでいく。
  - あまりにも単調な仕事で、肩こりがひどくなったり、遅くまで働いて眠くなってしまふものであると、本業に支障が出る。本業に支障がない範囲で働きたいと考えている。
  - 平日の仕事の前後で働くことは考えていない。子どもが成長して、お金が今より必要になれば、その時間帯で働く可能性もあるが、今の家族構成だと平日の仕事の前後の時間は考えていない。
  - 検便が必要な仕事だったりすると、手間がかかるので選択肢から外すこともある。
- 使い方としては、1週間～2週間後の仕事を選ぶというよりは、本業の状況を踏まえて、土日にタイミーで仕事ができそうであればアプリを開くという探し方をしている。本業について、毎週同じ拘束時間でも業務内容によって疲れ方が違うので、自身の状況を見て「明日は仕事ができそうだな」と考えれば、そのタイミングでタイミーで仕事を探すという使い方をしている。
- 就業時間は、土日の副業で考えると、昼食から夕食までの間の14時から16時くらいが一番嬉しい。ご飯を作る準備もあるし、子どもは留守番はできるものの、休日くらいは子どもと一緒にご飯を食べたいという気持ちがある。
- 2019年のときと最近の使い方の変化として、結婚して子どもが小さいときは、元夫が仕事から帰ってきて子どもを任せ、自身は夜の皿洗いのスキマバイトをした。深夜だと時給が良かったので。専業主婦として、通常のパートタイム労働より自由度の高い働き方として、タイミーを使っていた。現在は、派遣労働の本業があり、土日の副業として使っている。

- 今後もタイミーを使うとしたら、副業的・お小遣いを稼ぐ目的に土日に使うことを考えているが、日本シングルマザー支援協会からは正社員の介護の仕事はどうかという話がきており、それに向けたタイミーの活用も考えている。
  - 介護の仕事のうち排泄介助など、自身の適性に合うのかやってみないとわからない部分もある。初任者研修の資格を取得しているが、転職しても、すぐ離職してしまう可能性がある。このため、まずはタイミーを使って何回か介護現場で働いてみて、介護の仕事も大丈夫と判断できたら、本格的に転職活動をしていくという流れも考えている。この年齢になってからの未経験職種への挑戦は不安が多いので、このような使い方を考えている。
  - タイミーには、介護助手の仕事もあるので、資格がなくてもできる。資格を取る前に介護現場の様子をみて、そこから資格取得をして、という段階を踏むことも考えられる。
- タイミーで働き、そのまま長期雇用として働く選択肢があるというのも関心がある。人間関係や職場環境をみて就職場所を決めていくというパターンはありがたい。通常であれば、履歴書を作成して、事業者もリサーチするという手続きを踏むが、子育てをしながらその対応を行うのは労力がかかる。タイミーを使った求職活動であれば、副業と求職活動を同時進行に行うことができるので、一石二鳥で非常に助かる。
- 資格取得をする際、ハローワークの求職者支援訓練や教育訓練のようなものもある。タイミーのアプリの中で発信してもらえるとありがたい。
- タイミーで働くことによって、気分転換になる。家と会社の往復で同じことをやっているより、お金を稼ぎながら他の業界の裏側を知ることが好奇心が刺激される。同じ仕事を週6日行うよりも、週5日に加えて1日タイミーで働く方が楽しいと思う。
- 家計管理の方法として、固定の給料の中でやりくりする、欲しいものは我慢するという一般的な考え方がある。でも、我慢せずに、いざとなったらタイミーを活用するというやり方の方が楽しいと思っている。
  - 生活費と娯楽費をあまり分けていない。例えば、子どもと外食をして、意外と月の収支が厳しくなったら「タイミーをあと数回すれば何とかなる」という考え方になれる。タイミーがあることによって、結果的に贅沢な経験ができる。
  - タイミーで仕事ができるという存在が保険になり得ると思う。存在を知っていること、繋がりがあることの安心感がある。柔軟に生きていきたいときに、タイミーという選択があることは本当に助かる。

## Dさん（タイミーの利用なし（関心あり））

### 1) 基本属性

- 40代。4歳の子どものが1人。現在、保育園に通っている。

### 2) 現在の仕事内容

- 製造業の会社員として、フルタイム（8時半～17時）で働いている。
- 雇用形態は準社員（契約社員）というもの。仕事内容は事務職で、設計を担当する部署で働いている。
- 課題は収入面。キャリアを積んでも準社員であるため、収入が増える見込みがない。
- 子育ての関係で現在は残業も難しいので、副業を選択肢の一つとしている。
- 今の会社は在宅勤務が認められ、一定程度柔軟な働き方ができている。子どもが風邪を引いたときなどは、在宅で仕事ができている。

### 3) 今後の将来設計

- 求職活動はしていないが、現在の仕事だけでは収入面で厳しいため、副業の仕事を探している。現在の仕事の収入は月17万円程度。
- 一方、現在の会社は、副業が原則禁止となっている。雇用契約を結ぶ副業は難しく、業務委託であればできる可能性がある。タイミーを使い副業をしたいが、そこが課題となっている。

### 4) タイミーの活用

- （前提として、今の会社においてタイミーによる副業は難しいので、仮定として回答をする）
- 子どもを家に一人にして働きに出ることが難しいのが課題。その課題を抜きにしたら、何時でも働きたいが、現実的には子どもが寝ている早朝や深夜になるだろう。在宅勤務なので、早朝や深夜でも仕事は入れやすそう。
- 本当は預け先があればいいが、預け先でお金がかかり、収入と相殺されてしまうと意味がない。
- 子どもが成長するにつれて、一人でも過ごせると思うので（小学校4年生くらい）、その場合は、土日働くケースや本業の長期連休中に働くこともあり得ると思う。週1～2日程度働くこともあると思う。
- やりたい仕事内容としては、過去にコンビニでレジ打ちをした経験があるため、深夜のコンビニはできそう。また、ファミレスで働いたことはないが接客も苦ではないので働いてみたい。一方、重い荷物を持つなどの体力的な仕事は厳しい。
- 勤務場所は、自宅から近ければ近いほどいい。現在住んでいるところは車社会であり、車で10分以内の勤務場所が理想。
- タイミーを利用したい理由は、収入を増やしたいから。本業の手取りの収入が月17万円程度なので、プラス3万円あればいいかなと思っている。プラス3万円の使い道としては、生活費に当てることになると思う。
- タイミーで仕事をし、その仕事に慣れれば、その職場で継続的に働きたいと思う。新しい職場を転々とすると、仕事を一から覚えなないといけない。事業主にも迷惑を

かけてしまうので、それは避けたい。一方、継続的に働く方が望ましいとは思いますが、様々な職場で働くという働き方も念頭には置いている。臨機応変に働ければいい。

- 子どもが成長し、一人で留守番をできるようになれば、まずは本業の仕事の残業を増やすことになると思う。
- 事前のアンケートでは、現在の課題・悩みとして「子育てなどに疲れ切ってしまう、気力がわかない」と回答した。その中で、プラスαでタイミーで働くとし身の負担はあるが、様々な人に出会うチャンスとなる。今は、家庭と職場との関係が中心であり、コミュニティを広げ、コミュニケーションをとる観点では、タイミーを使っていく価値がある。タイミーを通じて、他者と触れ合うことで、気分転換になると思っている。
- タイミーが「履歴書なし」であることはメリットと感じる。履歴書に載せる写真を撮ることもお金はかかるので、その負担がないのは嬉しい。時間的にも履歴書・面接を省略できることはとてもありがたい。
- 相互評価の機能で、企業から自分に対する評価を確認できるのはメリットだと感じる。もちろん、マイナスな意見があれば落ち込むかもしれないが、どう改善した方がいいのかを考え、プラスに転換できるのでメリットと感じる。
  - 現在の本業の仕事では、準社員なので、上司からフィードバックを受けることがない。タイミーの相互評価を通じて、自分の評価を知るきっかけになることはありがたい。

## Eさん（タイミーの利用あり）

### 1) 基本属性

- 40代。小学3年生と中学1年生の子どもがいる。
- 子ども（中学生）がスポーツの習い事をしているため、土日はそちらの対応に忙しく、土日に仕事はできない状況。また、平日も子どもの習い事の練習の送迎があるため、例えば、18時くらいまでの就業は難しく、働く時間帯に制約がある状況。

### 2) 現在の仕事内容

- ハローワークや自治体の支援も受けながら、看護学校（正看護師）に通っている。学校の課題・実習もあるため、その空き時間にスキマバイトを利用している。
- また、知り合いの職場で事務職として手伝ってほしいと言われており、今後は、学業に加えて、パートタイム労働として働くことを予定している。事務職は、元々経験をしていた職種。
  - この仕事については、知り合いのところで働くこともあって、時間の融通がききそう。具体的な就業日数については、これから決めていく予定だが、週2日程度の勤務になりそう。
  - 知り合いの職場でのパートタイム労働を開始した場合、学業、パートタイム労働、子どもの習い事の対応となり、負担が大きくなるため、スキマバイトの利用はしばらくは控えることを予定している。

### 3) 今後の将来設計

- 正看護師の国家試験は来年になり、それ以降に看護師として働くことになりそう。今年、国家試験対策・卒業論文など、かなり大変な時期となる。
- 看護師の仕事は、新卒でパートタイム労働は難しいため、フルタイムで働くことになりそう。子どもの習い事と折り合いをつけながら、働く条件を調整していくことになる。
- 看護師の仕事は、大手の民間サイトを使いながら探すことを想定している。
- 看護師になった後、場合によっては、プラスαでスキマバイトで働くこともあり得る。子どもの送迎の負担も、子どもが高校生になったら（現在、中学1年生）、状況が変わる可能性もある。

### 4) スキマバイトの活用

- 直近では、年末に使わせてもらった。また、日中に子どもが学校に行っていて、送迎に差し支えない時間に活用していた。多くて週2〜3日程度を利用していた。
- スキマバイトを利用することで、気分転換になると考えている。学業などにプラスして、スキマバイトを行うと負担になる面もあるが、気分転換につながるものがメリットと感じている。
  - 学業の負担が大きいため、たまには違うことをしたくなる。スキマバイトは、今しかできないことでもある。実習が終わりその忙しさから解放されたタイミングで、違うことをしてみたいということで利用した。実習との間に、空き時間ができるので、その落ち着いたタイミングで使った。

- 「収入を増やしたいから」がスキマバイトを活用する理由ではあるが、具体的に得たい収入額のイメージはない。子どもが大きくなるにつれて、お金がかかるようになってきているため、少しプラスになればいいくらいの使い方。使い道としては、自分の学費に使ったこともあるし、子どもの習い事の遠征代などで使った。
- 即日入金の特徴もあるが、お金が足りていない状況ではないので、そのこのメリットは特に感じていなかった。
- 現在、お金には困っていない。ギリギリではあるが、生活をする上でお金が足りていない状況ではない。ハローワークの支援（訓練給付）や、自治体の支援（高等職業訓練促進給付金）を利用している。本格的に働かなくてもいい状況なので、スキマ時間があれば働く程度の使い方をしている。
- 自治体の給付金は、スキマバイトしても減額される要件ではないので、学業とスキマバイトは両立しやすい。
- 資格勉強とスキマバイトの相性がいい。通常のアパート・パートであると、シフトを入れるとそう簡単に休めないが、スキマバイトはペナルティポイントはあるものの、それでも両立しやすい。
- 看護師を目指す中では、あくまでも学業が中心となる。通常のアパート・アルバイトであると学業が疎かになる可能性があり、それは避けたい。シフトなどに気を使わないで働けるスキマバイトはありがたい。
- 実際の求人の探し方は、アプリ上で日にちや時間を見て、条件に合う日時で仕事があったら応募するといったやり方。また、アプリ上で通知がくるので、それを確認しながら仕事を探した。
- 関心ある仕事としては、倉庫作業やイベントスタッフ、介護助手。
  - 介護については、資格は持っていないが、介護施設での看護助手・介護助手経験はあった。スキマバイトやパートタイム労働等で経験した。
  - 介護については、自分にとってプラスになる知識の獲得という目的もあった。介護施設では看護師も働いているので、看護の実習にも役立つケースもあり、一緒に働くこともメリットと感じた。
  - 倉庫作業やイベントスタッフについては、仕事内容が比較的、簡易・軽易であるため、覚えることが少ない点にメリットを感じた。看護師資格のために学校で勉強している中で、スキマバイトで覚えることが多いのは避けたいと考えていた。学業との両立をしていくためには、簡易・軽易な仕事との相性がいいと感じた。
- 勤務場所について、通勤距離は意識していた。徒歩で通勤できる場所や、車であれば10～20分で行ける場所を探していた。
- 毎回、異なる勤務場所に行くというより、3つくらいの勤務場所にリピートして働いていた。毎回、様々な仕事内容を覚えることは負担であるし、仕事選びのために通勤距離・通勤時間を重視していたので、条件に合う3つくらいの勤務場所を中心に働いていた。初めて行く勤務場所の場合、迷うことなく到着できるか不安を感じていたが、リピートしていくうちにその不安が解消されていった。
- スキマバイトについて、残業を指示されることが少ない点もメリットとして感じている。終業時間になったら基本的に終わるイメージを持っている。学業をしている

身としては、自分の時間を大切にできるという点がスキマバイトのメリットだと感じている。

- 「履歴書・面接なし」という特徴は楽ではあったが、学業の関係で、プリンターもあるし、文書作成は慣れているので、あまりメリットは感じていなかった。
- スキマバイトは一日単位であり、切り替えがしやすいという点もメリットと感じる。働いた職場に合わなければ次に応募をしなければいいと思って、働き先を検討していた。

## Fさん（タイミーの利用なし（関心あり））

### 1) 基本属性

- 40代。70代の父と母、中学2年生と小学6年生の子どもと暮らしている。
- 母は認知症と診断されている。現状では介護が必要な状況ではないが、今後症状が進行していくと介護が必要になる可能性はある。
- 現時点では、両親と子どもとの関係で時間的制約を受けてはいない。

### 2) 現在の仕事内容、3) 今後の将来設計

- 現在、求職活動中。雇用保険受給中。
- 令和6年3月まで公的機関での福祉関係の非常勤の職員（コーディネーター）の仕事をしてきた。協議会のマネジメントなどの仕事をしてきた。
- それ以前も、保育士の資格を持っており福祉施設での仕事もできるので、県庁で福祉施設の講師の仕事をしてきた。
- 現在、求職活動をしているが、福祉関連の仕事は探しておらず、エンジニアなどのデジタルの仕事を探している。
  - 県の事業でデジタルの訓練を無料で受講できるものがあり、その講座を受けていた。JavaScriptなどの基礎の部分をオンラインで受講していた。
  - 就職先としては、セールスエンジニアを探している。また、それ以外にも、未経験でもよければエンジニアの仕事で働くこともあり得る。入った後にC言語やPythonなどを学んでいくような仕事も考えている。幅広い求人を探している。
  - デジタル分野に関心を持ったのは、在宅での仕事が可能であることが理由の一つ。母の介護を意識したものであり、症状の進行はわからないが、後々在宅の仕事が必要になると考えている。
- 求職活動は、ハローワークに加え、県庁の訓練を受けていたので、そこで求人の情報提供を受けたり、就職フェアに参加したりした。また、民間サイトを見ながら探している。
- 求職活動中の生活費は、不動産収入と投資、雇用保険の基本手当（14万円程度）、児童扶養手当、両親の年金でカバーしている。
- 求職活動のゴールは今年3月末と考えており、今から本格的に動く。正社員の就職を目指している。

### 4) タイミーの活用

- 求職活動中にタイミーを活用することに関心を持っている。今年の3月までに就職先を決めたいが、うまくいかないケースもあり得る。その場合は、雇用保険の受給期間が3月に終わってしまうので、その収入のマイナス部分をタイミーで補填できればと思っている。
- 求職活動中にタイミーを使っていくことになるが、時間帯としては、早朝、朝、深夜を考えている。日中については、優先順位の高い求職活動の時間に当て、それ以外の時間にタイミーで働くことになると思う。一方、土日は面接が入らないケースもあると思うので、子どもの部活の送迎などと折り合いをつけながら、そこでタイミーを使うことはあり得ると思う。

- 仕事内容については、仕訳作業や在宅ワークがあればいい。
  - 地元で働くとなると、知り合いに会うのを避けたい気持ちがある。スーパーや接客は避け、仕分け作業など倉庫作業であれば、その辺りを気にせず集中して働くことができそう。
  - 保育士の資格を持っているが、親と同居している関係で感染症の心配があり、保育所でのタイミーの利用は難しいかもしれない。
- タイミーを求職活動中に活用することで「気分転換」になると思う。家族と一緒に過ごす時間が長いのが、元々は社会との接点を持ちながら過ごしてきたわけなので、タイミーを使うことで、以前と同様の環境でいられる。
  - また、求職活動が長引いてしまった際に、タイミーで働くことで気分転換にはなると思う。
- デジタル分野で正社員として就職した場合、その職場が副業可能かどうかによるが、その後もタイミーを使うことを考えている。
  - 一番の目的は収入の面。今後、子どもの教育費がかかってくる時期になる。タイミーで働いた分を貯蓄に回したい。求職活動中は、貯蓄を削りながら生活をしたり、子どもの習い事を制限していた。
  - 求職活動中のタイミーの利用は、そのまま生活費の補填に使うイメージだが、正社員就職後のタイミーの利用は、求職活動中にできなかった貯蓄に回したい。
- 母の認知症がどうなるか見えないが、もし症状が進行した際に、タイミーでスキマ時間で働いて何とかするという選択肢があることはありがたい。
  - 普通のパートタイム労働では、曜日や時間が固定されているイメージ。でも、母を病院に連れて行かないといけない状況になる可能性もあり、職場に謝罪をしながらシフトの調整をするのは精神的な負担となる。タイミーは気兼ねなく利用できるのも、その気持ちの楽さがあり利用しやすいと考えている。介護となると精神的に大きな負担。仕事の部分で気持ちが楽なのは助かる。
- タイミーの「履歴書なし・面接なし」の特徴もありがたい。面接は緊張するし、会社の行き来が発生する。その気持ちの負担を軽減できることや、手間が省けることは助かる。
- 例えば、子どもの教材費で急にお金が必要になったりすることもあるため、タイミーのその日にお金がもらえるという特徴もありがたい。

## Gさん（タイミーの利用あり）

### 1) 基本属性

- 40代。小学生1年生と4年生の子どもがおり、2人とも学童保育を利用している。18時頃まで学童保育で預かってくれるため、仕事をする上での時間的制約は比較的小さい。
- 介護の初任者研修と保育士資格を持っている。

### 2) 現在のお仕事の状況

- 業務委託（商品の訪問販売）として働いていたが、先日（2月上旬）退職をした。
- 求職活動をして、来週（2025年2月下旬）から有料老人ホームで介護職員として働くことになっている。
  - 就業時間は9時から17時でフルタイム。雇用形態は、いわゆるフルタイムパートと呼ばれる働き方である。民間のサイトを活用して就職した。

### 3) 今後の将来設計

- 保育士資格は持っていたが、これまで働いたことはなかった。タイミーを通じて保育士としての業務を行うことができた。資格の更新をしていなかったが、タイミーを通じて保育士の仕事に興味を持ったので、今後は資格を更新することにした。介護のフルタイムパートの仕事をしつつ、タイミーを通じて保育士の仕事をしていきたい。
  - 介護のフルタイムパートの仕事は、土日も含めたシフト制であり、平日に休みが取れる可能性がある。何度かタイミーで働いた保育園が平日に募集を出しているため、タイミーを利用し副業として継続的に働きたい。
- 子どもが大きくなれば、時間的制約もさらに小さくなるため、就業場所や就業時間の範囲が広がっていくだろう。
  - どのくらいの就業場所であれば働けるのか、どの時間帯であれば働けるのかについて、タイミーによりシミュレーションをして、確かめていくようなこともしていきたい。

### 4) タイミーの活用

- 今月（2月）からタイミーの利用を開始した。前職を退職した後に期間が空いたので、収入の繋ぎとしてタイミーを活用した。前職を退職後、10回ほど働いている。
  - 職種としては、介護と保育。介護で4回、保育で6回。
  - 家から遠い勤務場所だと働くことが難しいので、家の周辺から探した。
- 介護の初任者研修の資格と保育士の資格を持っていたが、これまで使っていなかった。タイミーが資格を活かすきっかけになった。
- タイミーで働いた職場から長期雇用の打診があった。職場の雰囲気もよく、働いてみたいと思える職場だった。タイミーを通じて長期雇用につなげていく、そのような仕事の探し方もあるんだなと感じた。
  - 長期雇用の打診を受けたタイミングでは、介護のフルタイムパートの仕事がすでに決まっていたので、結果的にはこの職場で長期雇用に移ることはなかった。

- 朝、子どもを学校へ見送り、その後、何時からであれば働けるかわからなかった。
  - タイミーで一度、9時からの仕事で働いてみたところ、9時からでも仕事に間に合うことに気づけた。今後の仕事選びの参考になりそう。
- 介護の資格を活用して働いたことがなく、タイミーで初めて働く際は不安があった。結果は、優しい言葉をかけてくれるような職場だったので、問題なかった。
- タイミーを通じて働くことで、介護・保育の仕事が自分にできるかを判断をした。
  - 実際にやってみて、その仕事が好きなんだと気づいた。
  - やれる仕事もだんだん増えて、その仕事のことをもっと知りたいと思えた。最初の頃は、対応できる介助の人数は1人だけだったが、回数が増えるにつれて2人・3人と介助する高齢者の数が増えていった。また、保育の仕事でも、最初は寝かしつけの際に子どもが泣いてしまい、職員に対応をお願いする状況だったが、回数を重ねるにつれて、子どもとの関係性もできて一人で寝かしつけができるようになった。

## Hさん（タイミーの利用なし（関心あり））

### 1) 基本属性

- 40代。25歳と19歳の子どもがおり、2人とも社会人になっている。
- 子どもとは一緒には住んではいるが、社会人になったため、時間的な制約はなく身軽になった。

### 2) 現在のお仕事の状況

- 現在、障害者福祉の仕事をしているが、3月末に退職をする予定。
- 子育てをしているときは、いわゆる固い仕事として障害者福祉の分野で10数年間働いていた。

### 3) 今後の将来設計（当面の働き方・タイミーの活用）

- 子どもも自立したので、自身の好きなことをやっていきたいと考えるようになった。3月末に退職後、4月からは自由な時間があるので、全国津々浦々に旅行をすることを予定している。旅行先でタイミーを使いながら、約3か月ほど過ごそうとしている。
- 現在、タイミーのアプリで、旅行先として行きたいところに仕事があるかという観点で求人を探している。
- 伝統工芸品に関心を持っている。旅行先では、どのような仕事でもいいが、例えば、旅館の仕事もしてその地域で観光もしていきたい。そういったことがタイミーであればできる。
- 旅行先でタイミーを活用する目的は、旅行代をカバーしたいから。それに加えて、現地のことを知りたいという点もある。仕事を通じて、地域の「人」のことを深く知ることができるし、その「人」を通じて「地域」自体のことも知ることができる。
- 旅行は地方部を考えている。交通費は自費になるが、タイミーで働くことにより旅費の足しにできればいいと考えている。
- タイミーの仕事と宿泊場所の地域がうまくマッチングできれば、その地域で2週間くらいは過ごしたいと思っている。また、その地域のことをもっと学びたいと思うことがあれば、それより長く滞在することも検討したい。
- こういう使い方（※旅行先でタイミーを使って長期滞在する）は、仕事（会社）に所属しているときにはできないこと。仕事を辞めて、子どもも自立して、時間の空いているこの時期にしかできないこと。
- 目的は「地域を知る」ことであるため、働く時間帯は、夜に働くときがあっても、昼に働くときがあってもどちらでもいいと考えている。子どもと一緒にいるわけではないので、いろんな時間帯で働ければいい。まず求人の中で関心のある仕事を決めて、その就業時間以外に余った時間があれば、その時間帯で地域を知ることに費やしていきたい。
- 旅行先で働くことになれば、自ずと初めて仕事をする場所が多くなるから、フルタイムでいきなり働くことはしないだろう。最初は4時間くらいの仕事で働けるとい

い。

- 同じ地域で良い仕事があれば、旅行先であっても同じ職場で複数回働く可能性はある。
- タイミーの「面接・履歴書なし」という特徴は、旅行先で働くケースには合っていると思う。旅行先で都度、履歴書提出や面接参加は無理だろう。

#### 4) 今後の将来設計（正社員就職後・タイミーの活用）

- 日本シングルマザー支援協会の支援を受けており、仕事を紹介してもらっている。旅行が終わる3か月後には、収入面などを考慮して営業職で働こうと思っている。
- 営業職に就職できた場合にも、その後も障害者福祉の仕事はライフワークとして一生関わり続けたいと思っている。
- タイミーの中で求人が出ている飲食やホテル（旅館業）の仕事もしていきたいと考えている。「人のことを知りたい」と考えているので、黙々と一人で行う仕事よりは、人と接する仕事、具体的には旅館業や飲食業に関心がある。従業員同士だけでなく、お客様とコミュニケーションを取る仕事に興味がある。
- 営業の仕事をする際に、企業の経営者とやりとりすることが必要になりそう。多くの経営者が人手不足に課題を抱えていると思われる。タイミーを利用している職場は人手不足に課題があると思われ、経営者共通の課題。タイミーで働くことで、その点の勉強にもなりそう。
- また、タイミーでは、初めて来る人に向けて業務のマニュアルなど可視化を進めている。その考え方は、障害者福祉（障害者が行う業務の切り出し）に近い話であり、その観点でもタイミーで働くことは勉強になりそう。
- 正社員になった後、副業が認められるかは現時点ではわからないが、副業としてタイミーを使いたいと考えている。
- 正社員で働くのであれば、そこで収入は一定得られるので、知りたい地域や業種・業界、人を知るという目的で、タイミーを利用する可能性がある。
  - 営業先の経営者の気持ちを知る意味でも重要なこと。タイミーで働く経験は、どのような仕事でも役に立つ経験になると思う。お金以上のものを得ることにつながると思う。
- 正社員就職後にタイミーで働くペースは、月に2回程度を考えている。正社員のフルタイムだと心身の負担もあるし、すでに子どもも自立しており、お金の心配も少なくなっているため、心身を酷使して働くことまでは考えていない。

## Iさん（タイミーの利用あり）

### 1) 基本属性

- 30代。3歳と小学1年生の子どもがいる。
- 子どもは保育園と学童保育を利用しており、保育園は17時半まで、学童保育は18時まで利用している。

### 2) 現在のお仕事の状況

- 仕事はパートタイム労働（10時～17時）で事務（不動産会社）の仕事をしている。
- 終業時間は保育園と学童で預かってもらえる時間帯に合わせている。10時からの始業時間も保育園・学校の見送りの時間を考慮している。

### 3) 今後の将来設計

- 子どもが2人いるので、正社員で働きたいと思っている。今の仕事で正社員を目指すことを考えている。
  - その場合、必要な資格（宅地建物取引士資格）を取ることが必要であり、今年の秋の受験に備えて勉強をしている。
  - また、正社員になるためには、勤務時間を他の人と同じにすることが必要になる。

### 4) タイミーの活用

- 一昨年12月に離婚し、昨年3月に今の仕事に就職した。その12月から3月の期間は、緊急的にお金が必要だったため、集中的にタイミーを利用した。子どもの冬休みの期間だけで10数回働いた。
- そのときは、居住地から1時間半のところにある実家に子どもを預け、実家の近くでタイミーで働いた。
- また、その12月から3月の期間では、今住んでいるところでも、保育の一時預かりを利用しながらタイミーで会計事務所で働いたこともあった。
  - 一時預かりは1日約2千円かかるため、長い就業時間のものであれば収支のバランスが取れる。ただ、4時間くらいの仕事だと、生活をしていくのは難しい。
- 現在も、長期休暇中に好きな仕事が見つかればタイミーで働いている。
- 今後、もし正社員になっても、平日1日は休みになるため、そこでタイミーで働けると思っている。
- タイミーで働くことで、もちろん収入をプラスにできるというメリットもあるが、環境が変わるので気分転換になる。子どもと24時間ずっといるのはつらい面がある。一定、子どもと距離を置く時間、「ママではない時間」も必要と考えている。もちろん、本業にプラスして働くことで体は疲れるため、仕事内容やそのときのお財布の事情も考慮しながら決めていきたいとは考えている。
- 小学生の子どもがいるため、週1回月2万円程度を追加で稼げればいいと思っている。

- 生活がギリギリの状況なので、使い道は生活費になると思うが、余裕がでてきたら、子どもの習い事（教育費）にも使えたらと思っている。
- 子どもの年齢が上がれば、働ける時間も変わると思う。その際、パート先（本業）を新しく探すことは負担が大きいですが、タイミーは、その変化した時間に合わせて仕事を探せばいいので、ありがたい。
- タイミーで働くことで長期雇用の話もあり、自己肯定感が上がった。2箇所から長期雇用の話があった。頑張ったことが認められたという気持ちになった。
- 出産のタイミングでそれまで働いていたアルバイトを辞め、専業主婦になったため、仕事のブランクが6年ほどあった。
  - このブランクは、求職活動をしていく上で課題になった。履歴書の書面上では職歴がなく、企業に「この期間は何をしていたのか」と思われてしまいそうだし、「スキルがない」と思われそう。また、自分自身も「専業主婦だし」という気持ちがあった。専業主婦の中にはそう思っている人多そう。
  - その中で、タイミーは書類やプロフィールでなく、働きぶりにより企業に評価してもらえるので、気持ちが楽だった。
  - 書類選考の履歴書の職歴欄にも、タイミーでこれまでに働いた勤務内容は記載した。また、面接の際にもタイミーでイベントスタッフ、会計事務所で働いたことを伝えた。
  - 専業主婦でまるっきり働いていない状況とは違い、タイミーで働いているだけでも企業の印象が違ふと感じた。専業主婦も育児で頑張っているが、それを面接などでアピールすることは難しい。

## 5) その他

- 保育園を利用する際、就労証明書を出す必要がある。タイミーのみで働いていた時期があったが、就労証明にならないので苦労した。
- 離婚の前後は、夫が帰ってこない、お金を家に入れられない状態で、すぐにお金が必要で、その際にタイミーを使った。
  - 私は、実家に子どもを預けながらタイミーを利用することができたが、そういう人ばかりでなく保育園に預ける必要がある人もいる。子どもを預けることが難しい点の改善が必要だと感じた。
  - もちろん、一時保育はあるが、その1日に必要なお金の額を考えると、タイミーで働いた収入の大部分に相当するので、暮らしていくためのお金にはならない。
- 子どもの急な発熱により仕事をキャンセルせざるを得ない場合は、ペナルティポイントが気になりそう。幸いにも、私の子どもは体が強かったのですが、そのような事態にはならなかったが。

## Jさん（タイミーの利用あり）

### 1) 基本属性

- 50代。大学2年と高校3年の2人の子どもがおり、実家で一緒に暮らしている。子どもが小さい頃から、平日フルタイム、プラス土日働いていた。

### 2) 現在のお仕事の状況

- 就業時間は平日の月～金の9時から17時。
- 派遣労働者として働いている。
- 大学の事務に17年程度従事している。派遣労働者なので3年で更新の時期がくる。元の大学に戻ったり、違う大学に行ったりもしている。

### 3) 今後の将来設計

- 昨年9月末の雇用期間が終了したタイミングで、定年も近くなったので、求職活動をした。ただ、正社員で自分がしたい仕事で就職するのは難しかった。別のジャンルにも行きたかったが、結果的に声がかかったのが大学事務だった。
- 求職活動のときは、派遣会社がリスキリングのサービスを行っていたので、それに参加した。紹介予定派遣を通じた長期雇用を目指していたが、うまくいかなかった。
  - 目指していた職種は、大学事務、医療事務、金融。医療事務の資格は持っていたが、実務経験がなかったのが難しかった。
- 本年4月からは、元々いた大学に戻る予定。そこから3年間働く予定で、その先は現時点では未検討。

### 4) タイミーの活用

- 直近の夏に、3回程度モニター検証の仕事をした。
- 大学事務の仕事は夏休みが長く、その期間にタイミー以外のサービスも含めて副業で働くことが多かった。夏休みは大学事務の仕事は休みになってしまう。時給制のため、その期間無給となるため、働くことが必要。
- 夏休み以外にも、通常の土日の休みの日にも使う可能性もある。
- タイミーで働くのは、収入のためという理由もあるが、いろいろな仕事をしたという気持ちもある。働くことを趣味としている部分がある。いろいろな仕事経験をすると楽しい。どうせ生きているならいろいろな経験をしてみたいと思っている。
- これまで単発の仕事としては、派遣の仕事であったり、試験監督の仕事などを行った。また、工場でのライン業務やピッキングの仕事をやってみたかったので働いた。
  - タイミーで求人も探したが、すでに埋まっていて応募はできなかったが、もしいい求人があれば、応募する可能性は十分ある。
- 事前のアンケートとして、タイミーを使っている理由として「やってみたい仕事を見つけるため」と回答した。
  - ピッキング、ライン作業のほか、イベント系の仕事にも関心がある。

- また、経験者を求めており実際に応募することは難しかったが、飲食の接客はやりたかった。
- タイミーで働くことで気分転換にもなるとも考えている。外に出るのは楽しいし、勤務場所に行く工程も含めて楽しいと感じる。
  - 毎日なら家の近くの勤務場所がいいが、1日だけなら遠くの勤務場所で働くこともあり得る。
  - 実際、試験監督の仕事をしたときも、1時間くらいかけて現地に行って、帰りにその町で食事をして帰ることをしていた。
- 単発にいくとき、1回だけではあるが、手を抜いてはいけないと思っている。勤務する事業者と良い関係でいて、自分もやりたいと思って、次も先方も呼んでくれる状態で帰りたいたいと思っている。なので、相互評価の機能で評価してくれるのは嬉しい。実際、評価してくれた事業者に複数回働きにいった。

## Kさん（タイミーの利用なし（関心あり））

### 1) 基本属性 2) 現在のお仕事の状況

- 30代で3歳の子どもが1人いる。
- 子どもは保育所に通っており、8時半に送り、14時に迎えに行っている。
- 弁護士・税理士資格を活かし会社の役員として働いているため、労働時間の規定は適用されない。子どもの送迎の間の8時半～14時の時間は空いている。急な本業の業務などあればそこで対応することもあるが、それ以外はプライベートな時間に使っている。15時以降には本業の仕事をしている

### 3) 今後の将来設計

- 現在の仕事の内容・やり方については、変えていくことは特に考えていない。
- 副業をしたいとは考えており探しているが、本業の仕事もあるため、アルバイトの副業があればやりたいと考えている。

### 4) タイミーの働き方

- タイミーの利用として、事前のアンケートでは「月に数日程度」と回答した。空いている時間があり余裕があるため、そこで何かやれたらいいと考えている。
- 今の仕事（弁護士・税理士）に関係するような事務や法務に関わるような仕事ができればいいと考えている。一方、事前のアンケートではイベントスタッフとも回答しており、1、2時間程度であれば人生経験という意味でやりたいとも思っている。
- また、保育などは、弁護士として虐待案件などに関わることもあるので、現場を知っておく意味でも役立つ部分はあると思う。
- 働くことで気分転換になる。普段、職場の固定されたメンバーと保育所の送迎で会う人以外の人とも出会うことができる。また、タイミーでは今まで会っていたタイプとは違う人と会えることもできそう。弁護士業務で会うような人たちの生活様式を知ることにもつながる。
- 接客は苦手意識があるため、就業先としては難しいと思っている。もしトラブルになったときに責任問題にもなり得るので難しい。

## Lさん（タイミーの利用なし（関心あり））

### 1) 基本属性

- 50代。2人の子どもがおり、2人とも社会人になっている。一緒に暮らしてはいるが、子どもは自立しているので、子どもとの関係で仕事の就業時間の制約はない。

### 2) 現在のお仕事の状況

- テレビ・ラジオ・イベントの制作の現場（制作会社）で働いていた。現在は、フリーの制作として働いている。
  - 制作会社に勤め、子どもが小さかったときは、制作会社は不規則な就業時間であったため、22時まで預かってもらえる保育園に預けつつ、実家の力も借りながら育てた。
  - 40代のときに自身の体調を崩し、フルタイムでの勤務が難しくなり、就業形態を変えてフリーの制作に移った。
  - 現在のフリーの制作では、その時々によって、働く日数や時間は異なる。
- 離婚の裁判が長期間続いていて、婚姻費用・養育費は夫に出してもらうことになった。それにより生活費を工面している。
  - フリーの制作に移り年収は下がり、裁判中は生活保護を利用していた時期もあった。その後は、養育費・婚姻費用が認められ、子どもが自立した後も婚姻費用の支払いは続いている。

### 3) タイミーの働き方

- タイミーで働き、収入の補填につながればいいと思う部分もあるが、ガツガツ働くよりは、今の仕事（フリーの制作）と並行して、地元など働ける範囲の中で社会に役立てる範囲でやっていきたい。
- メディアで仕事をしてきたので、いろいろなことを経験した。社会人としてのスキルはあると思っており、それを社会に活かしていければと考えている。
- 昔は、大手フードチェーン店の接客のアルバイトをしていた。接客の点でサポートできる部分もあると考えている。
- 女性と男性で同じ働き方は難しいと思っている。女性には出産や育児があり、働き方が難しい。家庭が円満でない場合にも、子どもにも自分にも負担なく、親子が向き合っているのだろうか、これから働く若い母に相談された際に、タイミーのような働き方の情報をどう出せるのか、と考えている。
- タイミーはこれまでまだ使ったことはなく、少しハードルが高いと考えている部分がある。
  - どう働き出せばいいのか、自分が会社の役に立つことができるのかが見えない部分がある。自身が完璧主義である面もあるので。
  - また、年齢が50代であることに不安な面がある。
  - さらに、イベント現場の経験も多いが、企画して先を読むような動き方になってしまい、指示通りに動く必要がある現場とのミスマッチが出てしまうのではないかという不安もある。

- タイミーは、まず初めに実際に働く姿を見てもらえる点ありがたい。書類選考で落とされてしまう人の中にも「本当はこういうことができるのに」と思っている人はいると思う。
- アンケートでは、週1～2日のタイミーの利用を希望すると回答した。最初は自信がないのでそのような回答としたが、始めてみて楽しくなれば回数・頻度を増やしていくことはあり得る。
- いろいろなところで働くことも、一つの職場に深く入ることもどちらもありそう。これまでの仕事の経験では、毎回場所が違うこともあったし、一つの番組を深くやることもあった。
- やってみたい職種として接客がある。人と接するのは好きだし、大手フードチェーンで仕事していたとき天職だと思っていた。
- また、制作会社するとき、イベント現場での仕事が多く、それに関わることはほぼやってきたので、小さいものから大きいものまでできると思っている。
- これまで働いてきた制作会社では、資格が必要なかった。タイミーの求人で、やりたいことがあり、それに資格が必要なのであれば、資格も取りたいと思っている。
- タイミーで働くことで、本業（制作）に活かせることもあるだろう。全てが役に立つと思う。企画に繋がることもあるだろうし、何一つ無駄になる経験はないと思っている。
- タイミーによりいろいろな人たちと出会える機会も、現場に行かないとできないことなのでありがたい。